

東洋大学大学院  
経済学研究科

# 公民連携専攻

公民連携専攻では、インターネットを使った遠隔授業システムを導入しています！  
遠方に住んでいても、自宅や職場のパソコンからリアルタイムで授業に参加できます

昨年、招聘した  
外部講師は  
**50名以上！**

※中央官庁、大企業の役員等

**修士（経済学）**  
の学位が  
取得できます！

自治体職員は  
**授業料半額相当の**  
奨学金制度あり

※給付型奨学金  
※在籍する機関と本学との  
連携協定の締結が必要

**土曜日だけの**  
受講でも  
修了できます！

※平日だけ、英語科目だけ  
でも修了可能！

学生の多くは社会人  
**自治体・企業派遣**  
幅広い人脈が得られる！

※修了生（希望者）の所属は  
HPのリサーチパートナー  
に掲載しております。

日本全国、  
海外在住でも  
**自宅や職場のPC**  
から全ての授業が  
受講できます！

キャンパスは  
地下鉄**大手町駅**  
**B3出口直結！**

※土曜日は白山キャンパス

社会人入試は  
**面接のみ**

※企業または官公庁等に  
通算1年以上在職した  
経験を有する者



※通信教育課程ではありません。一部、  
通学が必要です。

※遠隔授業システムは、原則、首都圏  
1都3県（東京、神奈川、千葉、埼  
玉）以外に在住の方が対象



東洋大学は、国連PPP推進局が世界各国で展開しているPPP拠点づくり活動(国連CoE)の一拠点である「国連CoE 地方政府PPPセンター(Specialist Centre of Excellence on PPPs in Local Governments)」として認定を受けました。地方政府を対象とする世界で唯一のPPPセンターです。本専攻で学ぶということは、自治体PPPに関する世界標準を身に付けるということになります。

## 東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻

〒100-0004

東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル 1F

東洋大学大手町サテライト

E-mail : ml-ppp@toyo.jp TEL : 03-3231-1021



入試個別相談実施中

- ・HPより申込み(事前予約制)
- ・随時、実施中
- ・来校、遠隔どちらも可能！

詳細・お問い合わせ⇒ <http://www.pppschoo.jp/>

検索

人口減少、少子高齢化、インフラ老朽化などが深刻化しています。公民連携専攻では、公民連携だけでなく、地方行財政、公共施設マネジメント、まちづくり、観光や産業振興など多くのテーマを抱える人材が集まっています。同じ悩みを抱えている仲間が全国にいるというだけでも心強いと感じるでしょう。

「遠い」というのは大きなハンディですが、それを解決するのが遠隔授業システムです。通信技術は年々向上し、今や、衛星放送のような音声のずれもなく、お互いの表情を確認しながらコミュニケーションを取ることができるようになりました。

地域を変える志を持った皆さん、キャリアを中断することなく働きながら学べる機会を逃さず、是非チャレンジしてください。



## 根本祐二

公民連携専攻長  
PPP研究センター長

1978年東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。同行地域企画部長を経て、2006年東洋大学経済学部教授に就任。同PPP研究センター長兼務のほか、内閣府PFI推進委員会委員等公職多数。主な著書に「朽ちるインフラ」(日本経済新聞)。

### 遠隔授業システムを利用するのに必要な機器

- ・インターネットに接続できるパソコン (タブレット可)
- ・WEBカメラ
- ・マイク (ヘッドセットの利用を推奨)

※Web会議OmniJoin (ブラザー販売(株))を利用しております。  
※大学側で契約しているサービスのため、契約を行う必要や費用の発生はありません。

### 欠席した授業の録画提供制度

公民連携専攻は、多くの学生が社会人であることもありサポートとして、授業の録画を行っています。業務の都合などでやむを得ず、授業を欠席した学生へ録画を提供しています。

※申告制、回数制限あり、演習(ゼミ)の録画は行っていない

仕事が忙しい  
時も安心!



## 遠隔授業システム利用者インタビュー



### 柏木 邦子さん

2018年9月修了  
北海道庁職員

※北海道から受講

地域が直面する課題の解決に少しでも繋がるような、実践的な学び直しがしたいと考えていたところ、「遠隔授業システム」を知り、入学を決断しました。

最初はPC設定や接続に不安がありましたが、実際やってみると複雑な操作はありませんでした。通学している院生と比べて、デメリットといえば、ゲストスピーカーが来られた際のアフター交流会に参加できないことくらいです。

公民連携専攻は、基礎知識と実践への応用という武器を習得することのできる場所です。地方だから機会に恵まれない…というのは今の時代、言い訳になりません。PPPに関心のある方にはぜひ入学をお勧めします!



### 黛 正伸さん

2018年9月修了  
国際協力機構(JICA)

※ルワンダから受講

16年間群馬県庁に勤務後、ザンビア、ケニアでの勤務を経て、現在はルワンダでJICA専門家として水衛生公社に勤務しています。

ルワンダのネット回線は非常に遅いのですが、ほとんど問題なく受講することが出来ました。サポート体制も充実していて、安心して利用できました。同級生に会って、情報交換する機会をあまり持てなかったのは残念でしたが、通学の時間等を考えれば、効率良く学ぶことができたと思います。

「遠隔授業システム」は海外からでもできたので、日本からであれば、全く問題ないと思います。学びたい気持ちがあれば、距離は問題ではありません。躊躇する必要はないと思います。